

JADA

全国自動ドア協会

123

Jul. 2025

JADA 会報

Japan Automatic Door Association

特集 BAU (国際建築・建材・建築システム専門見本市)



世界遺産：〈ドイツ〉バイロイト辺境伯のオペラハウス

JADA

Cover Story

JULY 2025 NO.123



華麗なるバロック芸術の舞台

ドイツ南部、バイエルン州の都市バイロイトに佇む“バイロイト辺境伯のオペラハウス”は、18世紀ヨーロッパの宮廷文化と芸術音楽を今に伝える壮麗な劇場。辺境伯（中央から離れた地域を統治する貴族の称号）フリードリヒとその妻ヴィルヘルミーネの芸術的な趣味によって、1744年から1748年にかけて建設された。

内部は、イタリア・バロック様式の精緻な装飾に彩られ、金箔をふんだんに使用した優雅な内装は、訪れる人々を別世界へと誘う。全体は木造で構成されており、極めて優れた音響効果を誇る点も特徴のひとつ。オペラだけでなく、祝祭や宮廷の催し物など、多彩な文化活動の舞台となっていた。2012年にユネスコの世界遺産に登録された。

画：杉井洋一

Contents

2025年（令和7年）度 定期総会

開会挨拶	3
事業活動報告	4
協会役員一覧・記者会見（質疑応答）	5
特集●BAU（国際建築・建材・建築システム専門見本市）	6～8
HOTLINE●優秀自動ドア施工技能士表彰	9
技能検定合格者発表	10
技術部会合同会議	11
物語の中の自動ドア	12
JADA PROFILE●ハシダ技研工業株式会社	13
JADA Archive	13
賛助会員のページ●ビーイーエージャパン株式会社	14
事務局から	15
私の故郷	16
2025年度スケジュール	16



左から花房副会長、内田会長、古野副会長

2025年6月11日、東京都港区のアジュール竹芝にて、2025年度定期総会が開催されました。

2024年度の事業報告及び決算の承認が行われ、その後、決議事項として、2025年度の事業計画案、予算案並びに交代役員に関する議案が附議され、

議案書通り承認されました。

今年度は、役員改選期にあたるため、現任の全役員が任期満了となり、あらためて審議した上で次期役員が選任されました。

開会挨拶



全国自動ドア協会
会長
内田 正則

皆様におかれましては、日頃から当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

改めまして本日はご多用の折、全国自動ドア協会2025年度定期総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年度の世界経済は回復基調にありながらも「ウクライナ侵攻」や「中東情勢の混迷」に終わりは見られず、残念ながら高い成長には至りませんでした。また、世界各地で「選挙イヤー」と言われる程、相次いで選挙が行われた一年でもあり、各国で新体制が始動しましたが、やはり最大の話題は米国トランプ大統領の振り返りで、就任早々から矢継ぎ早に出された政策が世界中に大きな影響を与えました。

そして、日本経済はインバウンド需要や株価上昇等により景気回復基調を維持し、デフレからの脱却は実現しましたが、円安・原材料/労務費の高騰・人手不足等のマイナス面が大きく、好景気の実感はなかったというのが大方の思いなのではないでしょうか。更に今後も、前述しましたトランプ大統領の関税政策により貿易や外交にもマイナス影響が出

るのではないかと懸念いたします。また、石破政権も「政治とカネ」の問題で批判が続く中、自民党新人議員への商品券配布問題や直近のコメントの価格高騰問題に起因した支持率低迷が続いております。

この様な状況下、2024年度の国内向け自動ドア据付台数は昨年と横ばいの約136千台(前年比99.6%の微減)、また、生産台数は輸出台数が大幅に伸び146千台(前年比1.8%の増加)となりました。そして、2025年度も自動ドアの需要は順調と見込まれ、総生産台数は150千台に達するものと予測しております。

私たちを取り巻く環境は首都圏一極集中と地方の需要減が続く、着工時期や工期も大きく変動することが予想され、材料高騰・人材不足も避けられないでしょう。しかしながら徐々にではありますが、各案件の計画が見え始めてきたとも感じております。当業界としては「お客様のご要望に著実にお応えしていくこと」が最も重要であるという考えに変わりはございません。

本年度、当協会としましては、事業計画にもあります通り、次の点を重視し適時適切な活動を行ってまいります。

▶安全性向上及び安全啓発事業として、自動ドアの安全に関する研究並びに立案、JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット-安全性」の利用者及び関連主体等への安全啓発活動、当協会内での事故報告

集計と分析を行い、更なる安全性向上に努めます。

▶技術基準の制定・改定においては、関連基準の制定・改定に対する対応。関係官庁、関連団体との技術基準情報の交換。関係規格の研究と対応に努めます。

▶JIS 啓蒙活動と制定後の市況調査及びJIS 対応製品の需要拡大の活動を継続いたします。

▶自動ドアの適切な施工ならびに点検整備の必要性をご理解いただくと共に、安全・安心の提供のため、自動ドア施工技能士の育成と一層の充実に努めます。

▶協会会報・ホームページを十分活用し、JIS 制定に関する周知活動を継続いたします。

▶会員知識向上のための研修会企画・運営ならびに事業運営に関するコンプライアンスへの取り組みを強化してまいります。

最後になりますが、全国自動ドア協会は、会員各社が今まで以上に協力し合い、自動ドアの必要性・有用性を広くご認識いただくことでの更なる社会インフラの維持、そして何より安全と安心の提供に取り組み続け、業界の継続的な発展と存在価値向上に寄与できるよう、より活発な活動と努力をしております。

今後とも皆様のご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

事業活動報告



● 自動ドアの需要動向

○ 2024年度の自動ドア生産台数の実績

国内向け台数 137千台/年(前年度比100.7%)
 海外向け台数 10千台/年(前年度比121.9%)
 総生産台数 147千台/年(前年度比101.8%)

2024年度の国内市場は、2022年までの世界的な半導体不足による電子部品供給不足、また新型コロナウイルス蔓延による経済低迷からの影響を脱却し、生産台数においては昨年度ほぼ同等ではありますが、前年比0.7%増となりました。海外向けに関しては、昨年比2割超の増加となっています。

国内の据付台数は前年比0.7%減の137千台となりました。

2025年度も国内大都市圏における再開発や大型プロジェクト計画により、需要は堅調に推移すると予想され、国内向け生産台数140千台、海外向け11千台、総生産台数151千台を見込んでおります。

国内向け生産台数の7割が自動ドアの安全規格 JIS A 4722 に適合した駆動装置であることを確認いたしました。今後も適合比率を高めてまいります。

2025年度	予測
国内向け生産台数	140千台
海外向け生産台数	11千台
総生産台数	151千台

● 自動ドアの安全に関する取組み

当協会は、自動ドアの安全確保に関する活動を重要な使命と考え、自動ドアの通行者の安全を実現するエントランス環境づくりのための研究と諸施策を継続して実施しています。

自動ドアの安全規格 JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット（引き戸）安全ガイドブック」を見直し、改訂版を2025年3月に発行しました。

また、お子様の安全を守るための啓発資料『自動ドアの安全な通り方』をよりわかりやすく見直しました。

● 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格である「自動ドア施工技能士」の2024年度技能検定試験が2025年1月から2月にかけて全国で実施され、2024年度は、253名が受検し、実技と学科を合わせた厳正な検定の結果、184名の合格者が発表されました。

● 技術基準等の改定活動

自動ドア開閉装置の性能規格（JIS規格）制定に向け、要求項目の概要をまとめ、2024年2月に日本規格協会のJIS原案作成公募制度へ応募しました。現在、技術基準委員会にて意見交換をおこない、本年度中の制定を目指し、主要課題について検討しています。

● 協会役員一覧 (2025年度)

■ 会長

内田 正則

ナブコシステム(株)
代表取締役社長

■ 副会長

古野 重幸

フルテック(株)
代表取締役会長

■ 副会長

花房 剛

ナブテスコ(株)
執行役員
住環境カンパニー社長

■ 総務部会長 兼 広報委員長

吉田 毅

寺岡オートドア(株)
代表取締役社長

■ 技術部会長 兼 技術基準委員長

林 孝次郎

ナブテスコ(株)
理事 住環境カンパニー 技術部長

■ 企画委員長 兼 自動回転ドア協議会委員長

武藤 春彦

ナブコシステム(株)
取締役常務執行役員 営業本部長

■ 安全委員長

高杉 義幸

フルテック(株)
執行役員 企画本部長 兼 商品企画部長

■ 技能開発委員長

小崎 弘

扶桑電機工業(株)
執行役員 生産本部長

■ 事務局長

田中 隆行

全国自動ドア協会

■ 理事

相原 潤

北陽オートドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

網倉 克昌

ナブコドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

伊田 展充

ハンダ技研工業(株)
専務取締役

■ 理事

熊井 善之

寺岡オートドアシステム(株)
常務取締役

■ 理事

高柳 史郎

オリエント産業(株)
代表取締役社長

■ 理事

寺岡 宏司

昭和オート(株)
常務取締役

■ 理事

細山 健二

昭和建産(株)
代表取締役社長

■ 理事

宮澤 勇

平安通商(株)
常務取締役

■ 監事

鈴木 秀明

扶桑電機工業(株)
執行役員 営業本部長

■ 監事

古野 元昭

フルテック(株)
代表取締役社長

※ 2025 年 6 月時点

質疑 Q & A 応答

定期総会終了後、別室にて記者会見が行われました。
記者の方々の質問に対して、理事の方々が回答しました。

Q

JISに関する質問です。資料では「国内向け生産台数の7割がJISに適合した駆動装置である」とのことですが、「自動ドア」ではなく「駆動装置」と記載されたのはなぜでしょうか？

ガラス新聞社 福井氏



A

自動ドアは、サッシやガラスなど複合的な設備によって構成されており、JISに準拠する“自動ドア”として確認するのは、非常にハードルの高い作業なのです。駆動装置としての判断は可能でも「ガラスが強化ガラスか否か」や「電源のアース線が適切に接続されているか」までは、私たちだけでは判断が難しいというのが現実です。

協会内でも話し合っていますが、現場での確認は難しいため、今後はガラス業界にも協力を呼びかけていく必要があると考えています。現状としては、開口部全体がJISに準拠しているかどうかまでは、調査出来ていません。



内田会長

Q

JIS 適合の自動ドアについて、今後の展望をお聞かせください。どのくらいの期間で、どの程度普及が進みそうでしょうか？

サッシタイムス 山根氏



A

まず第一に、自動ドアの駆動装置がJISにどれだけ適合しているかを指標として、確認することにしました。次のステップとしては、自動ドアを納品する際の確認を検討しています。手間はかかりますが、ガラスはシールなどで強化ガラスかどうかを確認し、戸袋周辺の安全性も目視で確認するという方法です。将来的には自動ドア全体としてJISに準拠しているかどうかの把握にもチャレンジしたいと考えています。なお、「7割がJISに適合した」というのは、あくまで昨年出荷された自動ドアの中でJISに適合している駆動装置の割合です。全国で稼働しているすべての駆動装置の70%がJIS適合、という意味ではありません。したがって、既存の自動ドアも含めて7割に引き上げるには、相当な時間がかかると思います。



古野副会長

Q

どの業界も人手不足ということですが、自動ドアの遠隔監視システムは人手不足の一助になっているのでしょうか？

時報社 水戸氏



A

各社で遠隔監視システムの開発・導入が進んでいますが、まだ普及は十分とは言えません。ただ上手くいけば、点検回数が大幅に削減でき、人手不足対策としても大きな効果が期待できます。また、使用頻度の高まりによる劣化を事前に検知できれば、故障前に修理アナウンスも可能となり、事故予防にも寄与するでしょう。



内田会長



特集 **BAU** (国際建築・建材・建築システム専門見本市)

会期：2025年1月13日～17日

会場：ドイツ・ミュンヘン

BAU(国際建築・建材・建築システム専門見本市)は、2009年から2年に一度、ドイツで開催されている欧州最大級の建築見本市です。

2025年は18万3000m²の敷地(東京ドーム約4個分)に世界42ヶ国から2,120社以上が出展し、世界中からおよそ25万人が訪れました。



ソーラーセル
ソーラーセルを中間膜とした合わせガラス



回転ドアロックモード
4枚羽根の回転ドアで、ロックモードになると横からRドアがスライドして閉鎖します。

20年越しに見た自動ドア技術の進化

フルテック株式会社 執行役員 企画本部 本部長 高杉 義幸

2025年1月13日～16日まで BAU2025を視察してきました。

私が初めて BAU を視察したのは2005年で今から20年前、その時と比較して自動ドアや建具、その関連製品の展示物は大きく変わったと感じました。展示会場に到着した時は、先ずその会場の広さに驚きました。おそらくビックサイトの5～6倍は優にあると思います。その当時の展示物は、自動ドア各社は、こぞって2WING タイプの大型自動回転ドアをメインに出展しており、4枚羽根、3枚羽根タイプも多数ありました。スライドタイプの自動ドアのほうが展示数は少なかったと記憶しています。今回は数社が3～4枚羽根の中型回転ドアを展示しているのみでした。

また、2010年代に視察した時は、LED 関連製品の出展が多数あり、デジタルサイネージの展示が多く、会場がキラキラしていましたが今回は LED やサイネージの展示はかなり少なくなっていました。そのような中、ソーラーセルや LED を配列したシートを合わせガラスの中間膜として使用し、曲面ガラスにも採用されている製品がありました。配列のピッチも細くなっており画面の解像度が上がっています。

スライドタイプの自動ドアについては、出展する欧州の会社が以前ほどは多くはなく、中国、台湾資本のメーカーが増えてきていると感じました。

今回の展示では ASSA ABLOY 社が最も元気が良く、同業他社と比較して桁違いのコマを使っていました。このブースには4枚羽根の回転ドアで、ロックモードにすると

横から R ドアがスライドして開口部を閉鎖する回転ドアがありました。新興メーカーでは FAICE というメーカーが目立っており、元 Ditec の社員が立ち上げたメーカーだそうです。

自動ドア本体のスペックについては、各社ほとんど差はなく、自動ドアに付属する機器で自社製品をアピールしていました。

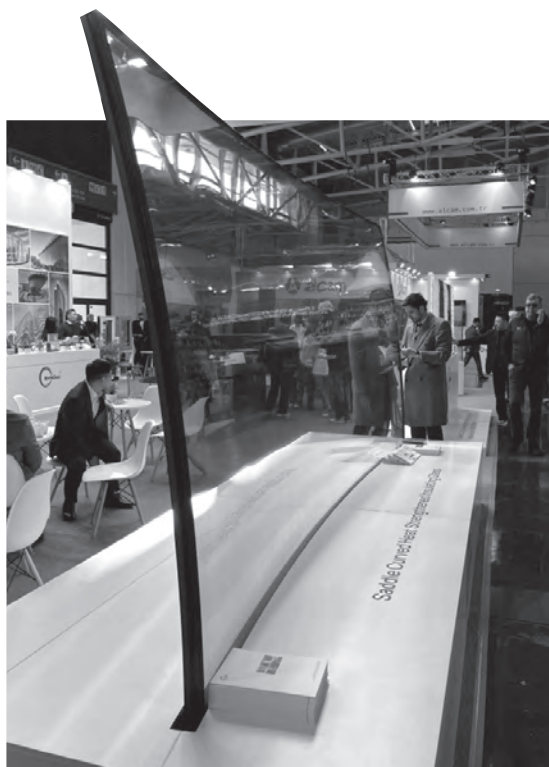
欧州メーカー各社は、欧州の自動ドア安全規格である EN 16005に準拠していると話していて、戸袋側の保護対策については、センサー式が最も多く、デザインに凝ったメーカーでは、起動センサーや戸袋側保護装置を内蔵し、表からは見ても分からない自動ドアもありました（黒い長窓の中に赤外線センサーが内蔵されています）。

20年前と比較して大きく進化したと感じたのは、ガラスの加工技術で、3次元曲線を用いた大判ガラスの展示が数社あり、大きいものは10m×3m ほどの大判ガラスを3次元曲線で加工し展示していました。

他には、顔認証式のセキュリティロッカーや宅配 BOX の展示があり、日本と似たような置き配の需要もあるようです。

今回の展示で、建物内部間仕切りや住宅向けで、自走式のバッテリーで動くレトロ風な自動ドアキットがあり、個人的にはこれがお気に入りでした。

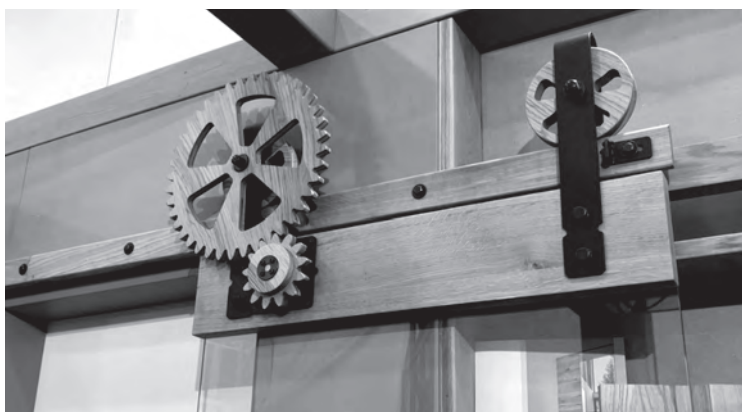
最後に、視察では1日の歩数は最低でも25,000歩から30,000歩は歩きますので、もし BAU に行かれる方は、必ず歩きやすい靴を持っていくことをお勧めします。



3次元曲面ガラス
20年で大きく進化したガラスの加工技術



センサー内蔵
黒い窓の中に赤外線センサーが隠されています。



自走式自動ドア

日本とドイツ 自動ドアの違い

ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー 営業部 商品企画課 構井 克典

ミュンヘンの
新市庁舎



ドイツはヨーロッパで最大の工業国で、自動車産業や電子工業や重化学工業が盛んな国です。

また欧州の中でも特に自動ドアの市場規模が大きいのがドイツと言われており、欧州の自動ドアメーカーの中にはドイツ発祥の企業もあり、doramakaba (ドイツの Dorma 社とスイスの kaba 社が合併して誕生) や GEZE といったブランドなどがあります。

さらに JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」が欧州規格 EN16005 をベースに策定されたのは周知の事実ですが、その EN 規格はドイツ工業規格 (DIN 18650) を参考に制定されました。

このように、欧州における自動ドア大国であるドイツ・ミュンヘンを訪問する機会を得ましたので、日本と欧州(ドイツ)の自動ドアの違いについてレポートしたいと思います。

かつてのバイエルン王国の首都がおかれたミュンヘンは宮殿や教会など歴史的な建物が多く、特に旧市街は美しい建築とエレガントな街並みが広がっています。ミュンヘンは第二次大戦中、激しい空爆を受け徹底的に破壊されましたが、戦後ミュンヘンの街並みを復興させる際には住民投票が行われ、近代的な街並みよりも戦前と同じような街並みに再建するという保守的な計画が採択され、現在の街並みや道路網などが保たれているそうです。またミュンヘン市はこれまで、100mを超えるビルの建設を認めていなかったため、市内に現代的高層ビルは存在していません。

実際に市街を散策すると、非常にうまく景観に配慮されていると実感するシーンを多く見かけました。古い建築物にマッチして、自動ドアが設置されています。

景観を保つための規制があるにもかかわらず、旧市街地

でも意外と多くの自動ドアを見かけることができました。お客様が気軽に入れるようにしているのか、頻繁に開閉するのが煩わしいのか理由は判りませんが、中には、真冬にも関わらず、開放したまま(!)の自動ドアもいくつかありました。

自動ドアそのものの違いについて見てみると、引き戸装置自体の構造・構成は日本と同じで、上吊りの扉がタイミングベルトで連結されモーターで駆動しています。

納まりはアルミの面付けが圧倒的に主流です。これは自動ドア販売会社がアルミのプロファイル(サッシ枠)を含めてまるごと販売しているからであり、日本のように自動ドア装置はエンジンメーカー、サッシはサッシメーカーといった分業化がなされていないことに起因しています。

目につく範囲でのその他の違いはおおよそ以下のようになっています。

- 縦横比の大きな短冊形の引分けが多い、二重引き戸も多い
- アルミサッシが大半、ステンレスサッシは皆無
- ドアガラスは複層タイプがほとんど
- ガイドレール・レス
- 補助光電センサーなし
- 防護柵は皆無(一部、ガラススクリーンの戸袋あり)
- 警告ラベル等の表示もほとんどなし

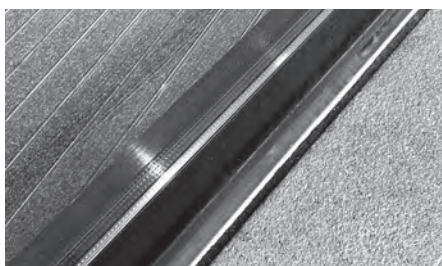
上記は筆者が見た範囲での話なので事実と異なる内容がありましたらご容赦ください。機会がありましたらドイツ以外の各国の自動ドア事情も調査してみたいですね!



ニンフェンブルク城の自動ドア



ミュンヘン市内の自動ドア



ホテルの自動ドア(複層ガラス)



ガイドレールレス

自動ドア
施工技能士

2025 年度 優秀自動ドア施工技能士表彰

優秀技能士20名を発表!!

厳正な選考の結果、全国自動ドア協会会長が表彰する2025年度「優秀自動ドア施工技能士」に右記の方々選ばれました。

厚生労働省認定国家資格である「自動ドア施工技能士」は、自動ドアの安全性を確保し、快適な性能を提供し、需要家の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を戴くうえで大変重要な役割を担います。その認識を高めていただくため、全国自動ドア協会では2009年から優秀自動ドア施工技能士表彰制度を制定し、今回で17回目を迎え20名(累計352名)の方が表彰されました。



●受賞の言葉

本日は、優秀自動ドア施工技能士という名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。今後、人材不足などが懸念されている業界ですが、この賞を頂いたことで指導者として、優秀自動ドア施工技能士に恥じぬよう人材育成していきたいと思います。これからも自動ドア業界の発展に貢献できるように努力していきますので、何卒よろしくお願いいたします。



オリエント産業株式会社
陣ノ内 武尊 氏

	氏 名	推薦会社
1	陣ノ内 武尊	オリエント産業 (株)
2	佐藤 博一	寺岡オートドア (株)
3	高田 宗弥	寺岡オートドア (株)
4	泉田 粒一	扶桑電機工業 (株)
5	福原 一真	フルテック (株)
6	石川 哲央	フルテック (株)
7	小野寺 義英	フルテック (株)
8	佐藤 孝宏	フルテック (株)
9	安藤 哲也	ナブコドア (株)
10	石倉 悟嗣	ナブコドア (株)
11	吉田 将崇	ナブコドア (株)
12	山中 直人	ナブコドア (株)
13	小川 洋介	ナブコシステム (株)
14	廣島 淳	ナブコシステム (株)
15	高橋 忍	ナブコシステム (株)
16	中村 健一	ナブコシステム (株)
17	前田 飛雄馬	ナブコシステム (株)
18	大谷 頼人	ナブコシステム (株)
19	立花 英喜	寺岡オート・ドアシステム (株)
20	中田 宇宙	寺岡オート・ドアシステム (株)

(敬称略)



2024 年度（令和6年度）

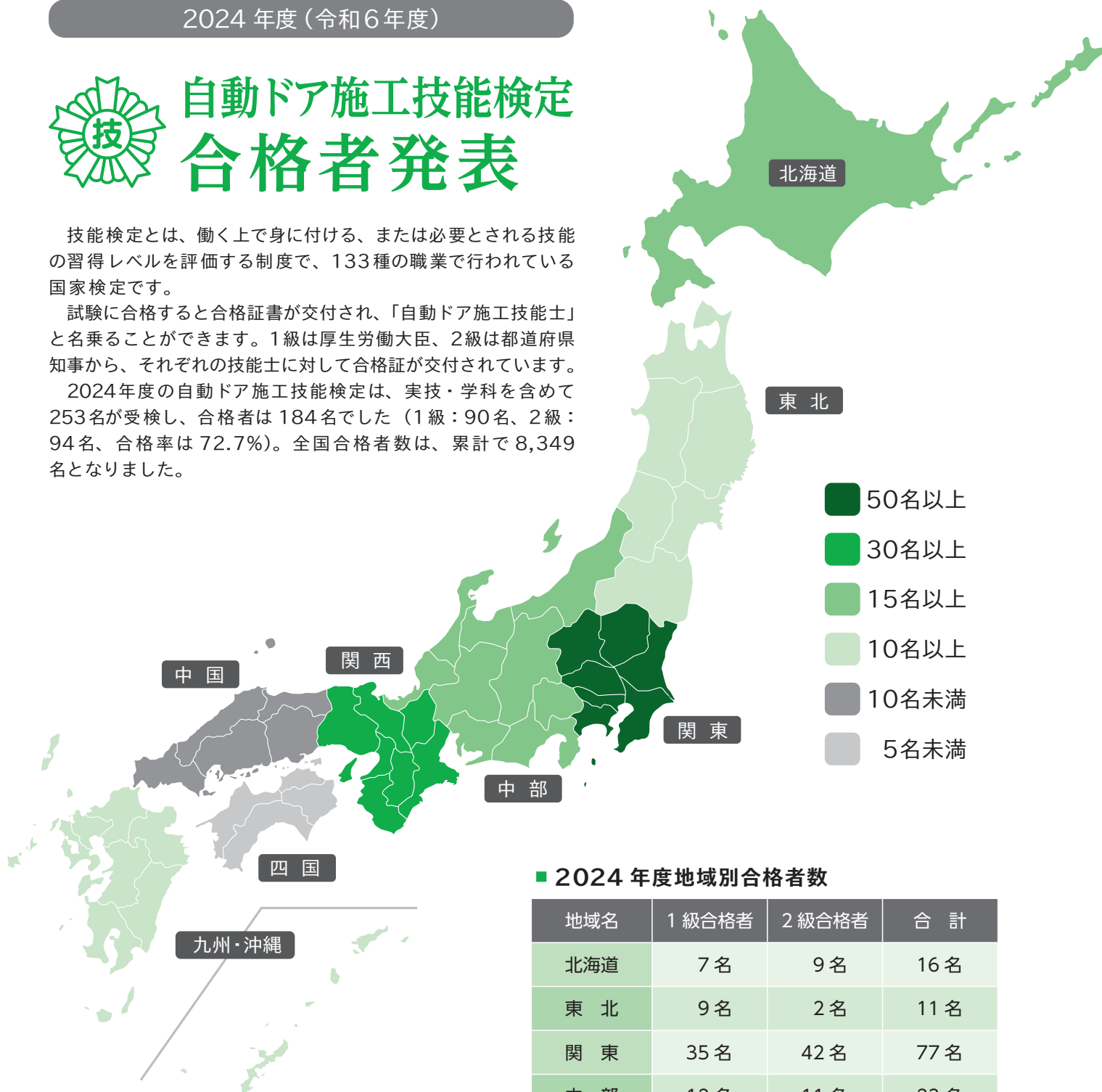


自動ドア施工技能検定 合格者発表

技能検定とは、働く上で身に付ける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する制度で、133種の職業で行われている国家検定です。

試験に合格すると合格証書が交付され、「自動ドア施工技能士」と名乗ることができます。1級は厚生労働大臣、2級は都道府県知事から、それぞれの技能士に対して合格証が交付されています。

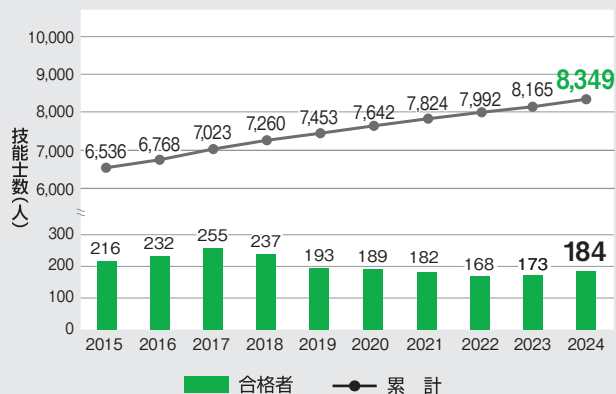
2024年度の自動ドア施工技能検定は、実技・学科を含めて253名が受検し、合格者は184名でした（1級：90名、2級：94名、合格率は72.7%）。全国合格者数は、累計で8,349名となりました。



■ 2024 年度地域別合格者数

地域名	1 級合格者	2 級合格者	合 計
北海道	7 名	9 名	16 名
東 北	9 名	2 名	11 名
関 東	35 名	42 名	77 名
中 部	12 名	11 名	23 名
関 西	16 名	16 名	32 名
中 国	2 名	4 名	6 名
四 国	4 名	1 名	5 名
九州・沖縄	5 名	9 名	14 名

自動ドア施工技能士合格者数の推移



自動ドア施工技能士の試験について

国の定めた基準に基づいて、学科試験と実技試験が行われます。学科試験は文章の正誤を問う形式です。実技試験は1級・2級とも、自動ドア装置の取付・調整の作業を試験台にて行います。日程は、等級ごとに全国同時期に実施されます。合格すると技能士を名乗ることができます。

“火の国”熊本で人間と自然との共生について考える

オリエント産業株式会社 技術本部 設計部 工藤 輝利

5月16日、2025年度技術部会合同会議が、技術基準委員会・技能開発委員会・技能開発作業部会より各委員7社11名が出席し、熊本県熊本市にて開催されました。

会議は熊本城近くの「熊本市現代美術館会議室」にて行われ、林技術部会長・技術基準委員長、小崎技能開発委員長、三浦事務局次長らにより、2025年度技術部会事業計画、2024年度技術基準委員会・技能開発委員会の活動報告、2024年度技能検定結果報告、2025年度技能検定予定などについてご説明を頂き、活発な質疑応答や意見交換が行われ、会議は滞りなく終了しました。



会議の様子

会議後は、賛助会員であるオプテックス(株)様にもご参加頂き合同懇親会が行われ、日頃はライバル関係にある参加者も、美味しい料理やお酒を前にすると、会話が弾み大いに盛り上がりました。

翌朝は、チャーターバスにて水前寺成趣園（水前寺公園）に向かい、庭園見学を行いました。国の名勝、史跡に指定されている回遊式公園で園内には出水神社や古今伝授の間（茶室）があり、江戸初期肥後細川家、初代將軍藩主忠利公がお茶屋を建てたのが始まりでその後、三代目將軍、綱利公せいいゆえんの時に庭園が完成しました。成趣園の名前は、中国の陶淵明の詩に由来し名付けられたとのこと。池には阿蘇の伏流水が静かに湧き上り心も体もとてもリフレッシュできました。



水前寺公園集合写真（前列左端が筆者）

次に熊本城に移動し、城の見学をしました。

2016年熊本震災により天守閣は勿論、全国的に有名な石垣等が甚大な被害を受けました。

現在も復旧工事中で完全復旧には約30年掛かる見通しとのことです。



熊本城見学

中でもシンボルである天守閣は2021年3月完全復旧し現在は観光客も多く来場されています。熊本城は1607年茶臼山と呼ばれた大地に加藤清政が当時最先端の技術と努力を投じて完成させた城です。以後400年に亘る日本の様々な歴史の重要な城となっております。天守閣はフロアにより城主が分けられて時代の流れが解りやすく構成されていました。又、当時一番格式の高い本丸御殿の柱には表面を荒仕上げする際にカーブのついた刃先を持つ手斧が使われており築城当時のまま残っていてとても感動しました。

昼食後、阿蘇の方へ移動し熊本地震震災ミュージアム KIOKU の見学をしました。

熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を後世に伝える回廊型のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」その中の中核拠点施設にて震災遺物の展示物やシアター等見学し当時の震災の様子や発生のメカニズムを学ぶことができ、人間と自然との共生のありかたについても考えることができました。

その後、JR 肥後大津駅、熊本空港へ移動し、今年の技術部会合同会議、合同見学会は終了いたしました。

私は福岡県に住んでおりますが熊本にはまだまだたくさんの観光スポットがあります。

阿蘇山、大観峰、白川水源、温泉等来られた際には是非火の国熊本をご堪能下さい。

最後になりますがこの度、合同会議と合同懇親会の開催、及び合同見学会の企画から引率まで実施頂きました JADA 事務局の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

物語の中の自動ドア

第16回

イラスト/コハラ アキコ

ホットスポット 2025
日本・ドラマ

くすりと笑える
SFコメディ

富士山麓にあるホテルで働くシングルマザーの清美（市川実日子）は、ある日、交通事故に遭いそうになったところを同僚の高橋（角田晃広）に救われる。その後、高橋は誰にも言わないよう忠告した上で、清美に自身が宇宙人であることを打ち明ける。清美は、高橋の秘密を幼馴染に話してしまい、彼女たちもまたこの非日常的な状況に巻き込まれていく。

ホテル内の温泉で
H.P. 回復



さえないホテルの従業員
高橋さんの正体は...



主人公清美は同僚の高橋さんに
助けられ、秘密を共有することになる。

「風除室」がないと
冬のフロント業務は寒い……。



2025年1～3月に放映されたドラマ『ホットスポット』は、芸人バカリズムが脚本を手がけた巧みな会話劇です。

第6話では、ホテルのフロントで働く清美が「もちろん暖房はついているのだけれど、これだけ頻繁に自動ドアが開くと、ロビーは一向に暖かにならない」と嘆きます。風除室があれば、冷気の流入を抑え、室内の快適性を保てますが、物語の舞台「レイクホテル浅ノ湖」には、まだ設置されていません。

本作は、時間帯や天候の変化がリアルに表現されていることも注目されました。自動ドアの外側の風景（富士山や自動車、空模様など）は実写に見えますが、実は大型ディスプレイに映し出されたCG映像なのです。細かい特殊撮影技術が、臨場感と演出効果を高めています。

同話では、高橋が宇宙人であることを主人公の友人（あやにゃん）が初めて知る場面が印象的です。「まあでも、そういう人もいるんじゃない。最近だとさ、海外からの移住者とか増えているし」とあやにゃんは自然に受け入れました。このあっけらかんとした反応に清美たちは「多様性を受け入れるとは、こういうことだ」と感じます。

ホテルの自動ドアは、誰に対しても変わらず開き、また静かに閉じます。その姿は、どんな違いも自然に受け入れてしまう登場人物たちの反応とも重なります。差を意識せず、隔てることなく受け入れる。ゆるやかに多様性を描くことで、社会の共生へのメッセージが込められた作品です。

ハシダ技研工業株式会社 Hashida Giken inc.

〒547-0001 大阪市平野区加美北6丁目15-14
TEL : 06-6791-7000
URL : <https://www.hashida-giken.co.jp>

弊社は、昭和 42 年 2 月に金型製造として橋田製作所が創業しました。そして昭和 49 年 3 月に橋田技研工業株式会社を設立、平成 21 年 3 月にオートドア事業部を設立し、「THU ハシダブランド」として、装置の製造、開発、販売を開始致しました。

当社は、創業以来大切に続けている社是に「人をつくり、技を売る」というものがあります。「人が企業の最大の資産である」という考えのもと、社員教育や研修に資源を投資し、また、製品を生産するだけではなく、「付加価値の高い技術やサービスを提供する」ということを重要視し、高品質な製品と迅速な対応力でお客様の信頼に応えることを目指し、日々取り組んでいます。その他にも、M & A にも積極的に取り組んでおり、現在は全国 29 か所に自社工場・関連会社を展開しており、強固な連携のもと幅広い製品ラインナップを実現しています。

オートドア事業部は店舗やマンションなどの建築用だけではなく、産業用自動ドアや特殊自動ドア等にも広く手を広げており、特殊案件につきましても豊富な実績がございますので、他機器との連動や特殊納まりの製品などでの自動ドア導入にも、協力会社との連携によって、迅速丁寧に対応させていただける体制を確立しています。

今後も、店舗や工場施設などあらゆるシーンで設置可能な製品ラインナップを取り揃え、これまで培ったものづくりの技術力とノウハウをもとにお客様のニーズに合わせたご提案をしていくことができる企業を目指し、取り組んでまいります。



本社外観

会社概要

代表者	吉岡 亨浩(代表取締役社長)
従業員	922名(グループ全体 1217名)
営業品目	オートドア、スライドクローザー、プレス金型設計製作、船舶部品、ガスタービン部品、農機具部品、航空機部品、プレス加工、空調機器部品、製缶加工、機械加工部品、樹脂切削加工、自動車用精密ボルト、板金加工など



いまから20年前の2005年5月、技術部会合同会議の一環として、会員企業14社20名が参加して愛・地球博(愛知万博)を見学しました。

愛知万博のテーマは「自然共生と環境配慮」。再生材を活かした会場設計や、建物通路のバリアフリー化などが印象的でした。

そして20年後の2025年、大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、デジタル技術と多様性を軸にさらなる進化を遂げています。「バリアフリー」はすでに常識となり、今やその先の社会課題と向き合う時代です。万博は、まさに時代を映す鏡なのかもしれません。



愛・地球博(愛知万博)見学記

バリアフリーの充実した新しい時代の博覧会

扶桑電機工業(株) 高木 祐一

2005年度の技術部会合同会議が5月12日に名古屋市で開催され、14社20名が参加して討議を行いました。議題は、技術部会事業計画、技能検定の結果報告、技能検定関係確認事項、各委員会報告および複合防火設備(CAS-0141)についての解説など多岐にわたるもので、充実した意見・情報交換が行われました。



会報 第82号(2005年7月発行)より

翌日は、愛・地球博(愛知万博)を見学しました。自然の地形がそのまま利用されたという広大な敷地の会場には、数々のパビリオンが並び、さまざまなイベントが催されていました。

日本の有名企業が環境をテーマに映像や最新技術を駆使してエンターテインメントを展開する企業パビリオン、日本文化の魅力を総合的に情報発信する日本ゾーン、公式参加国や国際機関が出展したパビリオンなどを興味深く見学しました。

歩道をはじめ会場内の様々な構造物には再生材・間伐材などの木材が使用され、環境への配慮がなされていました。それから、会場案内や通訳など、設備では対応しきれない部分で多数の市民ボランティアが活動されていることに感心しました。

建物通路等はバリアフリー化が行き届いており、過去に日本で開催された数々の博覧会とは異なった「新しい時代の博覧会」という印象を強く持って、会場をあとにしました。

愛・地球博記念公園では、2025年9月25日(木)まで「20周年記念事業」として様々なイベントが実施されています。



究極のオールインワンセンサー *1



ORASCAN

Hybrid Sensor

ToFレーザとマイクロ波のハイブリッドセンサー

Safety

10枚のレーザカーテン*2でドア全体をカバー（開口部～フィックスサイド）

Reliability

マイクロ波の正確な起動・方向検知でエネルギーセービングに貢献

Easy setup

設置・配線・設定が簡単

*1 複数センサー・防護柵などの安全装置の設置が不要です。

*2 ORASCANのレーザカーテンは1台から5枚出力されます。2台1セットのキットで販売しております。

ORASCAN
詳しくはこちら



ビューア機能付き専用アプリ



バーチャルプッシュボタン機能

ビーイーエージャパン株式会社
<https://asia.beasensors.com/ja/>

〒220-0004 横浜市西区北幸 2-8-19 横浜西口 K ビル
Tel: 045-565-9560 Fax: 045-565-9561
☎ 0120-010-449 E-mail: salesjp@beasensors.com



事務局から

● 被表彰者

2025年6月、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、東京都職業能力開発協会から技能検定委員に感謝状が贈られました。



寺岡オートドア(株)
高野 展一



扶桑電機工業(株)
古川 修子

● 新役員のご紹介



高柳 史郎

オリエント産業株式会社 代表取締役社長

〈略歴〉

昭和47年 12月生
平成10年 オリエント産業株式会社 入社
令和5年 執行役員 営業副本部長
令和6年 現職



花房 剛

ナブテスコ株式会社 執行役員 住環境カンパニー社長

〈略歴〉

昭和40年 1月生
平成2年 株式会社ナブコ（現ナブテスコ株式会社）入社
平成31年 住環境カンパニー 甲南工場長
令和3年 理事 住環境カンパニー 甲南工場長
令和5年 執行役員 住環境カンパニー 甲南工場長
令和7年 現職

編集後記



「観測史上最高…」、「例年にない酷暑…」と報道・メディア等により連日のように表現されております。夏の風物詩でもあるセミも暑すぎで鳴くことも出来ず、孵化することも困難な気候となっているようです。どうぞ皆さま健康には気をつけて厳しい夏を乗り切ってまいりましょう。

(T.T)



私の故郷は、東北地方の日本海側に位置する秋田県秋田市で、豊かな自然と深い歴史文化を併せ持つ魅力的な都市です。名産品としては、比内地鶏のスープ

で煮込んだ「きりたんぼ鍋」や、独特の細さとコシの強さで全国に知られる「稲庭うどん」、秋田の寒冷な気候を活かした「日本酒」が代表的な品です。

また、毎年8月に開催される「竿燈まつり」は、高さ12メートルにも及ぶ竿燈を操る技が見事で、東北三大祭りの一つとして多くの観光客を魅了しています。是非とも四季折々の自然の美しさと伝統文化を見に、足を運ばれてみては如何でしょうか。

※竿燈：多くの提灯を吊り下げた長い竹竿。竿を稲穂に見立て、五穀豊穡と厄除けを願う。



竿燈まつり



きりたんぼ鍋

全国自動ドア協会 2025年度スケジュール (2025年4月～2026年3月)

	2025 年									2026 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総会等			11 日 定期総会			25 日 研修会				16 日 賀詞交歓会		
幹部会		21 日			25 日			13 日			5 日	
理事会		27 日				11 日		27 日			19 日	
企画委員会	25 日			16 日			16 日			16 日		
安全委員会	23 日			30 日			16 日			22 日		
広報委員会	22 日			8 日			16 日		19 日			
技術部会		15 日										
技術基準委員会	18 日		19 日	17 日		18 日	15 日	12 日	12 日			
技能開発委員会					29 日							27 日
技能開発作業部会		9 日	13 日	11 日	8 日	12 日	7 日		2 日		27 日	

JADA

全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974 年 4 月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行 月: 令和 7 年 7 月

本誌の内容は、JADA の HP でも閲覧いただけます
(発行日より約 2 年間)

